

ひめやくつうしん

No.25 2023年6月



* 会長挨拶 *

最近では、小児用製剤の抗生剤や外用薬の品薄による出荷規制や、中には流通の見通しがたたない薬も出てまいり、このような状況がまだ暫くは続くかと予想されます。支部や県レベルでは解決できる問題ではないことをご承知の通りです。

当会といたしましては、姫路市医師会には「三師会」の場で、広域病院にはその薬局長を集めた「薬業連携会議」の場で、エリア最大規模を誇るはりま姫路総合医療センターへは、院長を含めた幹部医師に対して、当病院の「運営懇話会」の場で状況説明を行い、代替医薬品へ等の協力を求めています。

各薬局におかれましては、コロナ対応としてO410対応による処方箋調剤・医薬品の配送等、数多くの職責を果たしていただきました。なかでも姫路市からの要請を受けて行なった市民への無料抗原検査キットの配布事業に対しては、市長室にて代表して感謝状をいただいております。

5/8から第5類に分類移行され、発熱外来登録医療機関だけでなく、全ての医療機関で症状のある患者を受け入れることとなりました。薬局での受け入れ体制や感染対策等に十分な対策を継続しつつ、引き続き地域医療への貢献をお願いいたします。

6/4に第9回一般社団法人姫路薬剤師会通常総会が開かれ、正会員数656名、出席者数および議決権の代理行使者数の合計580名と、過半数を超えることができましたので成立を宣言いたし、令和4年度収支決算報告承認の件(令和4年度監査報告)、令和5年度事業計画案並びに予算案承認の件、定款変更(有効会員)に関して承認の件、全ての議案の承認をいただきましたことをご報告申し上げます。

長きに亘り、当会を支えていただき先生方と、新たに有効会員(資格:会員歴が累計30年以上かつ70歳以上)として、再び繋がりを持てることは喜ばしい限りです。

総会后、4年ぶりに懇親会を開催することとなり、現職の官僚である松本剛明総務大臣、前文部科学大臣の末松信介参議院議員、そして清元秀泰姫路市長、法田尚己中播磨県民センター長、笠井秀一兵庫県薬剤師会長、石橋悦次姫路市医師会長、段 充姫路市歯科医師会長、連盟で推薦しご当選されました水田裕一郎・北野 実・戸井田祐輔県議会議員に石堂大輔姫路市議会議員、健康福祉局長、教育委員会学校教育部長、姫路獨協大学薬学部部長、県病院薬剤師会西播支部長等の多くの来賓をお招きして無事終えることができました。

現役員の任期は、来年の総会までとなり、次の新しい世代の会長が誕生するまで、残りの任期を副会長、理事及び監事の役員と、そして事業部毎に委嘱いたしました委員の先生方と併せて当会の事業を行ってまいりますので、会員の先生方のご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

浦上 文男



* 総務部 *

担当副会長：関 悠吾(事務局長)、泉 憲政

担当理事：八藤賢市、西岡健二、爲則利之、八木智

事務局：船引里香、横山朝美

総務部では、薬剤師会業務の庶務、予算管理、人事管理、表彰業務等を行っております。

まず庶務ですが、法人としての各種規則・書式の点検・整備を行い、コロナウイルス感染症 5 類移行後の状況と社会の要請に合わせて、雇用調整への対応、就業規則の見直しや、書式の更新を行います。

また、会費・FAX 送信料に関する適正な管理と請求に努めます。会費・FAX 送信料における請求側・支払側双方の業務負担が減るようにしていきます。

次に予算管理ですが、各部の事業が円滑に行えるように、かつポストコロナの影響を考慮しながら収支を常に把握し、予算が正しく使用できるように的確な収支の管理に努めます。また、(株)ヒメヤクの収支・支出の確認を行い、予算・決算に連動させてまいります。

人事管理におきましては、本部職員及び FAX コーナー職員に対し、雇用者として求められることを誠意をもって、対応します。

表彰関連では、みなさまの今迄の活動を明らかにするものですので、漏れなく管理致します。

一般・会員からの苦情相談がありましたら、真摯に迅速に対応するとともに、会員への現状報告、関係機関との調整・連絡を行います。

最後に会員区分の整備事業として、会員区分の 1 つである『有功会員』の定款変更が 6 月 4 日に開催された定時総会にて決議されました。姫路薬剤師会の会員として累計 30 年かつ 70 歳以上の会員で、今後も当会の会員として有功会員を希望する方であり、理事会で認められた方が対象となります。いままで長期にわたり当会に尽力していただいた会員へ敬意を表したく、対象者の把握と確認を随時行ってまいります。

以上、ポストコロナの状況を注視しつつ、積極果敢に事業を展開します。

関 悠吾

* 薬学教育部 *

担当副会長：関 悠吾

担当理事：勝間由美子、杉本香織、富井新也、松田康弘

担当委員：安福良太

薬学教育部では、兵庫県薬剤師会と病院薬局実務実習近畿地区調整機構の主導のもと、実務実習受入施設の整備強化として実習生のマッチング(トラブル発生時の対応等含)・病薬連携整備(グループ化)・モデルコアカリキュラムへの対応を行います。はりま姫路総合医療センター開院から 1 年が経ち、実習受入体制も整いましたので実習受入薬局も多数必要となっております。毎年 4 月頃に来年度の実習受入調

査を兵庫県薬剤師会が行っておりますので、調査の際には積極的な実習受入手挙げを宜しくお願い致します。新規に実務実習指導薬剤師を取得したい場合は、ワークショップの参加が必要となりますので実習受入調査内にワークショップ参加を要望として記入してください。

また、認定実務実習指導薬剤師更新講習会の案内や支部でのグループ協議会の開催、指導薬剤師へのアドバンスワークショップの参加を促し、変革期に対応できる環境整備を行います。

次に、6年制カリキュラムへの対応として、姫路獨協大学コミュニティーファーマシー論への講師派遣・内容の充実、各薬科大学早期体験学習対応、OSCE 評価者、事前学習への講師派遣の協力を行います。コミュニティーファーマシー論では、姫路獨協大学薬学部の1回生向けに90分の講義を行っておりますが、講師の募集も随時受け付けております。薬剤師の職能アピール活動とともに、プレゼンテーションのスキルアップも兼ねてチャレンジしていただける薬剤師の先生を大募集しております。また、指導薬剤師の研鑽として、学術大会への参加・疾患に対する薬薬連携研修会への参加にも取り組んでいきます。

以上、ポストコロナの状況を注視しつつ、積極果敢に事業を展開します。

関 悠吾

* 研修部 *

担当副会長：深見達也

担 当 理 事：田中定幸、安田幸一、勝間由美子、松田康弘

担 当 委 員：西本悦子

研修部は令和5年度も同じメンバーとなり、引き続き皆様にとっていい研修会になるよう努力してく
所存です。

研修部は、通常姫路薬剤師会主催の定例研修会の充実と、病院薬剤師会西播支部と姫路獨協大学薬学部との共催で行う西播・姫路医療セミナー及びその他研修会に積極的に参加、協力して情報を収集し、フレッシュな演題の研修会の開催を目標としています、今年度は新型コロナが5類に緩和されたことを受け、引き続き感染対策には留意し研修を実施していきたいと思ひます

昨年4月からは日本薬剤師研修センターの単位取得の方法が変わり新しくPECSというシステムが導入されましたが今年度もスムーズに運用し、更にPECSにおいてWEB開催もできるよう申請を新しく進めて参ります。

出来る限り会員の皆様に納得していただけるよう運用面におきまして努力してまいりたいと思ひます。



深見達也

* 学校薬剤師部 *

担当副会長：深見達也

担当理事：勝間由美子、西岡健二、爲則利之、富井新也

代表委員：成山恵美、山内康子、西本悦子

令和5年度も引き続き学校薬剤師部の副会長を担当させて頂きます深見です。

6月4日の定時総会に伴い今年度も同一メンバーで共に学校薬剤師部の為に協力し、8人で活動していきたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症の防止の為、昨年4月の学校薬剤師部報告会は簡素化して実施、中止、延期となった検査もございました。昨年度は感染症対策に関する新たな対応について学校薬剤師として専門的見地から正しい情報を展開し、学校への助言等で活躍されましたことに感謝し御礼申し上げます。今年度5月に新型コロナウイルスが5類に移行されたのを踏まえて日本薬剤師会、厚生労働省、兵庫県薬剤師会からの新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理等について情報提供を迅速に学校薬剤師へ配信いたしますので、その情報を元に各学校薬剤師が担当校と連携を一層強化し、担当校の環境衛生の向上のために指導助言をしていただきたいと思います。

学校薬剤師は、学校長より任命された非常勤嘱託職員で、公立校では教育委員会から委嘱され公務員の一人となります。また私立校・認定こども園では学校の理事会等から委嘱されます。学校保健安全法という法律に基づき、各地区薬剤師会が各市町村教育委員会への推薦を行っています。学校内の水道水やプールの水質、教室内の空気の汚れ、給食用設備の衛生などを定期的に測定・検査をする。これは、子供たちが安全快適に過ごせるよう学校の環境衛生を維持・改善する指導・助言が主な職務です。今年度からいっそう、学校薬剤師の健康相談、保健指導くすりの正しい使い方の講義、薬物乱用防止の講義活動に積極的に取り組んでいきたいと思えます。また、2年前から公立小学校の夏季期間中の給食室点検や養護教諭対象向けの研習に関わっております。今期もこれに向けて適切に努めたいと思えます。



私立認定こども園に学校薬剤師の配置もあり、年々学校薬剤師の活躍する場が増えております。約250校の学校施設を姫路薬剤師会学校薬剤師部の108名の学校薬剤師が担当しております。1人1校の大目標がございました。

本年度は新たに6名の先生が学校薬剤師部に入部いただき学校薬剤師として活躍されています。引き続き状況に応じて11月頃に新規会員募集を行いますので、興味があり、やってみたいという先生はご応募ください。宜しくお願い致します。

深見達也

* 医療保険部 *

担当副会長：藤原 昭

担 当 理 事：杉本香織、森保貴典、八藤賢市、松岡洋平

リフィル処方箋の導入、薬剤調製料・調剤管理料・服薬管理指導料の新設などが実施された調剤報酬改定から1年余りが経ちました。今まで以上に薬剤師の対人業務に対する評価の拡充を目的とした評価体系の見直しや新設があり、患者や地域に寄り添った薬局や薬剤師が求められていることが実感できた年ではなかったかと思います。

医療保険部では、保険薬局・保険薬剤師のさらなる職域の拡大・適正な評価と正当な調剤報酬の獲得をスローガンに、情報を収集し、指定後講習会等で情報提供していきます。

保険調剤に係る法令・法規への知識を深めていただき、「求められる保険薬局・保険薬剤師」として適正かつ正当で最大限の評価を得られるよう講習会の内容を更新していきます。

兵庫県薬剤師会主催の「保険薬局・保険薬剤師伝達講習会」は9月30日に姫路商工会議所501室で、また姫路薬剤師会主催の「指定後講習会」も秋以降に開催いたしますので、是非、積極的にご参加いただき、参加された薬剤師の方々の保険調剤業務の一助としていただければ幸いです。

質問も随時受け付けておりますので、よろしく願いいたします。

藤原 昭

* 編集・文化部 *

担当副会長：藤原 昭

担 当 理 事：田中定幸、藤田佳典

編集・文化部は

① ひめやく通信の発行

② あゆみの編集(総務部と共同)

③ 会員の親睦を深めるためのイベントの開催(ゴルフコンペ、バス旅行等)
を主な業務としています。

あゆみは姫路薬剤師会法人化10周年を目途に、総務部と共同で姫路薬剤師会の歴史を綴ります。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い中止していましたが、研修バス旅行を今年度は4年ぶりに開催したいと思います。本年は10月29日に「**備前焼窯元 備前窯での陶芸体験と奥藤酒造・郷土館の見学**」を予定しております。

詳しい案内は追って連絡いたします。



藤原 昭

* 薬局経営部 *

担当副会長:池口由美

担 当 理 事:森保貴典、西岡健二、松田康弘、八木 智

薬局経営部は、薬業連携の中で各病院と交流を図り、病院⇄薬局間での課題の抽出や課題解決、情報共有等について4病院(兵庫県立はりま姫路総合医療センター(以下 はり姫)・姫路聖マリア病院・姫路医療センター・姫路赤十字病院)に担当理事を配置し、連携に支障がでないよう、役員が担当病院と交流を図り、課題解決や相談応需・当会からの提案等を行うなどの個別対応に従事し対応しています。

中でも令和4年度は、兵庫県病院薬剤師会西播支部との薬業連携会議を3回/年開催し、医療用医薬品の出荷停止、出荷調整による保険薬局への多大な影響・苦境について医療機関に訴え、柔軟な対応を頂くよう依頼を継続しました。また、はり姫開院後のトラブルについてタイムリーに対応できるよう、薬剤部と連携を密に図りながら、随時対応してきました。

今後は少子高齢化に伴い外来患者数は減少傾向をたどります。病院薬剤師との連携を強化し、「家 時々 入院」が進み、住み慣れた自宅(施設含む)で最期を迎えることができる地域住民の方々が増える社会状況の中で、「薬局薬剤師⇄保険薬剤師」の連携を強固なものにして、より安心して退院 自宅療養できる環境づくりが必要となります。

本年度は、西播病院薬剤師会と合同研修会を開催します。

「薬局薬剤師⇄病院薬剤師」間の情報提供・情報収集・情報共有・疑義照会にハードルや経験不足を感じている、比較的経験の浅い薬剤師を対象に参加型研修会を行い、問題解決を図ります。是非、積極的にご参加ください。11月以降開催予定です。

本年度も薬業連携会議を開催し、闊達な意見交換を実施して、薬局と病院薬剤部に関わる部分での多職種連携・認知症患者への連携したフォロー体制の構築や課題解決等について検討して行きます。

また、姫路市生活援護局と協力して行っている、生活援護室における服薬管理指導業務委託事業を継続し、生活保護受給者への訪問服薬管理指導の中で、後発医薬品の使用促進・生活困窮者への受診勧奨・特定検診等の検査受診の啓発等の支援を継続して行います。

麻薬処方せん対応における協力薬局体制については、医療保険部・特別事業部と連携して行って参ります。

担当役員全員で、頑張っていきます。本年度もよろしくご厚意申し上げます。

池口由美



* 地域医療部 *

担当副会長:池口由美

担当理事:杉本香織、森保貴典、安田幸一、松岡 洋平

担当委員:永谷仁子、山本奈穂



地域医療部は、2025年を目途に、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・地域介護・予防・生活支援が一体的に提供される包括ケアシステム構築、団塊の世代が後期高齢者のピークを迎える2040年に向けて同システムの深化のため、各団体との連携会議に出席し、積極的に連携を推進し訪問指導へ、薬剤師の地域支援領域の拡大へ繋げていくことと、健康サポート薬局、健康・介護まちかど相談薬局事業推進を目標に活動しています。

今後は少子高齢化に伴い外来の患者数は減少します。

薬局薬剤師は、今より一層、在宅で療養されている方やそのご家族を含めた支援者に対する支援やサービスを充実していかなければなりません。

本年度も引き続き、行政・多職種主催の研修会・事例検討会・情報交換会等についてご案内致します。積極的に参加いただき、連携しやすい環境づくりにお役立て下さい。

また、入退院時に切れ目のない医療と介護の提供がよりスムーズに行えるよう、昨年度に引き続き姫路市地域連携室協議会との合同研修会を開催します。本年度は、中播磨訪問看護ステーション合同研修会や介護職の方々と情報交換ができるよう、管理栄養士を招いて、フレイル予防関連についての参加型研修会を企画しております。いずれの研修会も積極的に参加し、「情報交換」「顔の見える化」にお役立て下さい。

各行政・多職種主催の会議にももれなく出席し、事例や状況、環境に応じて薬剤師がどのように関わり合えるかなどの薬剤師職能をアピールしていくことに加え、より連携しやすい環境を整えるべく活動し、機能別認定薬局・健康サポート薬局への支援に注力するとともに、薬剤師に対するニーズ・薬剤師の活躍の場等についての情報を収集し、会員様に研修会内で配信していきます。

本年度も、姫路市 後期高齢者医療保険課の事業への協力事業として通いの場の充実のため、高齢者の通いの場へ、薬剤師を講師として派遣する事業を継続していきます。講師募集のご案内をさせていただきますので、講師として地域活動へご参加下さい。

姫路在宅訪問薬局リスト令和5年度版を作成しました。医療機関をはじめとした関係各所・事業所に薬局・薬剤師の地域への支援の詳細内容とともに、リストの有効活用について紹介しながら配布していきます。リストに登録されている薬局は、できる限り訪問管理を実施下さいますようお願い申し上げます。

「健康サポート薬局に対応するための支援事業」では、各職能団体に健康サポート薬局の意義や有用性などを紹介し、協力体制を構築できるよう活動しています。ニーズが多くなってきているママサポート活動への支援もオンライン開始も視野に入れ再開していきます。ママサポート認定薬剤師の皆様、是非積極的にご活躍下さい。また、県薬主催のママサポート薬剤師認定研修に積極的にご参加ください。

昨年度に引き続き、やらなければいけないことが盛りだくさんですが、役員一同全力で頑張っていきます。本年度もよろしくようお願い申し上げます。

池口由美

* 神崎郡担当 *

担当副会長:池口 由美
担当理事:藤田 佳典
担当委員:住谷 庸子



神崎郡圏域の、地域医療部関連の業務を行っています。

各行政・多職種主催の会議にももれなく出席し、事例や状況、環境に応じて薬剤師がどのように関わり合えるかなどの薬剤師職能をアピールしております。多職種が集う研修会、事例検討会の情報を随時配信していますので、積極的にご参加いただき、地域医療参入の第一歩として、また活動領域拡大のための手段としてお役立てください。

訪問薬局リストを中播磨健康福祉事務所に配布しております。訪問管理の依頼があった際には、できる限り実施させていただきますようお願いします。

また、高齢者の方々が参加する「通いの場」や多職種参加型の研修会での講師派遣も行っています。ご案内させていただきますので、講師として地域活動へご参加ください。

担当役員一丸となって頑張っております。本年度もよろしくお願い申し上げます。

池口由美

* 特別事業部 *

担当副会長:泉 憲政、関 悠吾、藤原 昭
担当理事:田中定幸、松田康弘

特別事業部の活動の主になるところは休日夜間急病センターでの委託業務活動です。市民に対して薬局外での姫路薬剤師会としての調剤・服薬業務活動となります。

地域に貢献する活動を中心に薬剤師職能のアピールを行っていきます。また、地域連携薬局や健康サポート薬局といった専門性をもった、患者に選ばれる薬局を目指しサポートを行っていきます。

活動計画

1) くすりと健康の週間

昨年2年ぶりに市民向けのイベントを兵庫県薬剤師会主催ではありましたが、県民公開講座を開催することができました。今期も薬と健康の週間のイベントを開催する予定なので感染対策を行いながらにはなりますがご協力よろしくお願いいたします。

開催予定日:令和5年11月19日(日曜日) 場所:花北市民広場

2) 姫路市休日・夜間急病センター(姫路市救急医療協会からの委託業務)

出務者のシフト調整・予算要望・新規出務希望者募集・医薬品在庫管理 24時間待機電話・実

務実習生の受け入れ・感染予防対策等、出務希望者の面談は随時行っていますので薬剤師会事務局までお問い合わせください。

前年度は急病センターでの発熱外来へのご協力ありがとうございました。

また、姫路市・姫路市医師会からのワクチン接種事業協力、新型コロナウイルス検査キットの配布事業等でのご協力ありがとうございました。

皆様の市民に対する支援や姫路市への協力に対する感謝状を姫路市から頂き、会を代表して浦上会長が授与式に参加されました。

3) 広域病院処方箋*送信事業

処方箋送信事業の継続管理及び処方箋送信コーナーの運営管理

4) その他 他部会のサポート

泉 憲政

* 災害公衆衛生部 *

担当副会長：泉 憲政

担 当 理 事：爲則利之、松岡洋平、八木 智

本年度は昨年度各薬局に BCP を配布及び研修会を行いました。姫路薬剤師会会員薬局すべてにおいて配布、設置完了していますでしょうか。兵庫県薬剤師会では災害時に薬剤師を派遣する場合、災害支援薬剤師を中心に計画を立てていきます。定期的に研修会を行い兵庫県災害支援薬剤師の登録をお願いします。災害時には災害支援薬剤師として協力できる体制をとり、市民や要救助者の支援に入ってもらいたいと思います。また、自身の薬局や従業員等の身を守れるように、そして地域の医療を守り、すぐに再建できるように日頃から災害に対応できる薬局づくりをしていきましょう。

活動予定

1) 第2回薬剤師緊急対応スキルアップ研修会：一次救命処置(basic life support)

時期未定・場所未定

AED 使用法 人工呼吸 胸骨圧迫

2) 第回 PhDLS(災害薬事研修コース)研修コース

令和5年8月6日 場所：兵庫県薬剤師会会館

3) 災害支援薬剤師養成研修

令和5年7月1日 場所：兵庫県薬剤師会会館

4) 姫路市情報処理訓練(姫路ロジスティクス研修会)

中播磨県民センター・姫路市保健所・姫路市医師会・姫路市歯科医師会・神崎郡医師会・神崎郡歯科医師会・西播支部看護協会・姫路薬剤師会共催



令和5年12月3日 場所：勤労市民会館

5) 禁煙指導認定薬剤師講習会 協力

令和5年10月1日 場所：未定

6年ごとの更新 更新するとネームプレートがシルバー、ゴールドと更新されます

6) 兵庫県薬剤師会・姫路薬剤師会 災害時情報伝達訓練

令和6年1月17日 場所：各薬局

7) 薬局におけるBCP作成と整備

介護報酬改定で感染症や災害への対応力強化において薬局のBCPの作成の必要性が盛り込まれました。残り1年間の猶予期間はあるものの、他サービス機関との連携を構築するため、提出を求められることも出てくると思います。また、調剤報酬改定においては連携強化加算で災害時の対応マニュアルが必要となっています。薬剤師会では災害時を想定し備品を備えています。手指消毒用エタノール 300本・マスク 300個・災害時使用ベスト3着・PPE 関連資材 トランシーバー 8台・衛星電話 1台

8) 安否確認システムの導入と運用（会員情報の電子化）

現状の安否確認はアンケートフォームを利用しており、事務局か担当理事がいないと集計ができません。自動で集計ができかつ、地図に薬局の情報がマッピングできるシステムを構築。このシステムをしっかりと運用していきます。

9) 薬学実務実習生に対する災害薬事研修 年3回

場所：姫路商工会議所

泉 憲政

*** 情報・広報部 ***

担当副会長：泉 憲政

担 当 理 事：八藤賢市、安田幸一、富井新也

ホームページを中心に研修会や行政からの事務連絡等の伝達と更新を行います。定期的にホームページを確認してください。また、災害時の被災状況報告、安否確認ができるように、ホームページのトップに載せていますので確認しておいてください。様々な情報をメールで送信していきます。受け取れる環境にして下さい。また、姫路薬剤師会のWEB通信ツール等の拡充も図ります。

姫路薬剤師会のホームページのログイン

ID と Password を令和5年7月1日より変更します。

システムの安全確保のため定期的に変更を行っています。注意して下さい。

ID: himeph2023 Password: himeph2023

ログインを5回連続間違うとロックがかかります。

15分以上たってから再度ログインしてください。

薬剤師会からの情報を fax 送信からメール送信へ移行しています。コスト削減と情報送信の効率化を行いますのでご協力よろしくお願いいたします。薬剤師会からの情報送信サービスは薬局のメールアドレスの登録を必ず行って下さい。

薬局：メール受信の設定

<https://ssl.formman.com/t/w8SI/>

個人：携帯電話やパソコンへのメール受信設定を希望の方

<https://ssl.formman.com/t/r909/>



土曜・日曜・休日・深夜帯の情報伝達ツールのご案内

姫路薬剤師会の事務局が閉局している時間帯に訃報や緊急連絡を行いたい場合、情報広報部にて FAX を受け付けることができるようになりました。薬剤師会会員や会員のご家族また、近隣医院の情報を FAX でご連絡ください。上記以外で通常連絡の FAX は使用しないでください。

緊急時・訃報等の土曜・日曜・休日・深夜帯 FAX 079-263-8888

泉 憲政

* 薬剤師連盟 *

姫路薬剤師連盟：会長 浦上文男

幹事長 関 悠吾

兵庫県薬剤師連盟姫路支部：支部長 杉本香織

兵庫県薬剤師連盟姫路支部：班 長 浦上文男、泉 憲政、池口由美、深見達也、関 悠吾、藤原 昭、田中定幸、藤田佳典、杉本香織、森保貴典、八藤賢市、西岡健二、安田幸一、松田康弘、勝間由美子、爲則利之、八木 智、松岡洋平、富井新也

薬剤師連盟は、薬剤師及び会員の生活向上、地位保全のために国、地方自治体に意見を陳情してもらえ議員を応援し、選挙時には、その議員の支援にまわります。

来年4月、診療報酬（調剤報酬）・介護報酬・障害福祉サービス等の報酬が同時に改定されるトリプル改定が予定されています。改定の度に、薬剤師を取り巻く環境はより一層厳しいものとなる事が予想されますが、その改定内容や趣旨が日々の薬剤師業務に十分反映されているかどうか注視し、現場での改善点や要望があれば国政や地方自治体に声を上げていく必要があります。また慢性的な医薬品供給不足はいまだ解消せず、多くの薬局が処方医薬品の調達に苦慮されている状況かと存じます。こうした状況を少しでも早く解消するためにも一致団結、姫路薬剤師連盟から一層活発に声を上げていかなければなりません。



か がやけ み らいの や くぎょうかい をキャッチフレーズに

現場の薬剤師の声をさらに政界へ届けるために **神谷まさゆき** 先生を、

あいと **き** ぼうにあふれた、 **こ** れからの医療と薬剤師を目指す **本田あきこ** 先生も

直往邁進に活動ができるよう兵庫県・姫路エリアをあげて2人の後援活動の強化に努めたいと思います。必要に応じて会員みなさまの薬局へ班長がご挨拶・後援活動にお伺いすることもございます。その際には連盟活動への御理解・御賛同を、何卒宜しくお願い致します。

B会員の方で、まだ連盟会費を未納の先生、**また、薬剤師連盟に未加入の先生**、薬剤師職能の維持・向上のためにも、どうか連盟会費をご入金・**連盟へのご入会いただけましたら**幸いでございます。このことも御一考の程、よろしく申し上げます。

幹事長 関 悠吾

